

わだいの特選

wadai-no tokusen CAMERA REPORT

み 第17回ふれあいスポーツ大会 みんなで仲良く、楽しく！

6月5日、総合公園グラウンドで「第17回ふれあいスポーツ大会」が開催されました。当日は、玉入れやパン食い競争、大玉ころがしなどさまざまな種目が行われ、参加者は、爽やかな汗を流しました。競技を楽しみながら、障害者も健常者も一緒になって、仲良く交流を深めました。



す 川角小、泉野小「田植え体験」 くすく育って、大きくなあれ！

6月14日、川角小学校で、15日に泉野小学校で「田植え体験」が行われました。当日はみんなで泥だらけになりながら、それぞれ田んぼに苗を植え付けました。始めは泥に足をとられながら悪戦苦闘していましたが、慣れると上手に素早く植えられるようになりました。田んぼに入る経験の少ない子どもたちにとって、とても楽しく貴重な体験となりました。



川角小学校



泉野小学校



川角小学校

平成23年3月22日に毛呂山町指定文化財として、新しく指定された町内の4つの獅子舞と2つのお囃子のうち、今回は、毎年10月第2日曜日に滝ノ入の住吉神社で行われている獅子舞を紹介します。

滝ノ入の獅子舞は、他の3つの獅子舞と同様に3匹(頭)一組で、その内の1匹は「女獅子」、他の2匹をそれぞれ「男獅子」・「中獅子」と呼んでいます。

滝ノ入の獅子舞は、昭和60年に復活し、その際、以前は大人が務めていた獅子とオオグルイ(大狂い)を子供が務めることとし、後継者育成を図りました。

オオグルイは地域によってはハイオイとも呼ばれています。獅子舞のなかで獅子と獅子とを仲介する重要な役で、一般的には獅子舞全体をリードする「導者」とされています。

この導者は、この世のものではない存在で、荒れ狂う獅子をなだめたり、

毛呂山歴史散歩
文化財シリーズ218
新規指定文化財の紹介③
～滝ノ入の獅子舞～



滝ノ入の獅子舞

また、オオグルイたちは腰に「コシベエ」と呼ばれる幣束を着けており、導者が神に近い存在であることを裏付けています。

近年、滝ノ入の獅子舞では女兒の希望者もあり、古くは女人禁制だった獅子舞ですが、保存会員の合意のもと、オオグルイまでは女兒を受け入れることとしました。時代の変化に対応し、後継者育成に尽力する滝ノ入地区の貴重な伝統行事です。



コシベエ